

# 令和元年 高所作業車運転技能講習報告

フィールド科学系部門生物生産技術班 田中 明良

## ● 期間・場所

期間：令和元年12月11日（水）、12日（木）

場所：広島県労働基準協会 林業ビル8階教室（広島市中区上八丁堀8-23）

## ● 参加者

広島県内の高所作業車運転技能講習参加者 学科講習16名

実技講習9名

## ● 講習内容

○学科講習 9時間15分（試験含む）

- ・高所作業車に関する基礎知識
- ・高所作業車の作業に関する装置の構造及び取り扱い
- ・原動機に関する知識
- ・力学等と電気の知識
- ・関係法令

○実技講習 7時間（試験含む）

作業床乗込みから運転終了までの一連の操作方法、安全装置の確認等

## ● 所感

高所作業車は高所における工事、点検、補修の作業に幅広く使用される機械である。また、作業床及び昇降装置その他の装置により構成され、不特定の場所に走行でき、機能的、高低差の対応等の機能に優れる為、高所での作業を安全に行うことができる。しかし、これによる災害も多く、運転の誤操作による追突、はさまれ、高所における架空電線による感電などの災害が発生していると指摘を受けた。農場では伐木作業時に使用する予定なので倒木による転倒、架空電線での感電等には重々気をつけて行っていきたい。また、高所作業車はレンタル車を使用するのでしっかり作業車の能力、整備状況、固有の癖を把握し安全に取り組んでいきたい。